

アンケートから考える 子どもと読書

第29回鳥取県図書館大会分科会1

令和6年7月31日(水)

鳥取県教育委員会事務局社会教育課 三田

調査内容

「鳥取県子どもの読書活動推進ビジョン第4次計画」の改訂にあたり、子どもの読書に関する実態と課題を把握するために、「令和5年度子どもの読書活動に関するアンケート調査」を実施。（前回調査：H29年度）

○対象者

	対象者	有効回答数
個人	・保育所・幼稚園・認定こども園の年長児の保護者 ・小学3年生・義務教育学校3年生 ・小学6年生・義務教育学校6年生 ・中学3年生・義務教育学校9年生 ・高校2年生	2,008名
事業所	上記の個人アンケートを実施した園（所）・学校	82施設

○実施期間 令和6年1月26日から2月21日まで

○実施方法 オンライン

※アンケート調査結果は社会教育課HPで公開

<https://www.pref.tottori.lg.jp/53168.htm>



アンケートの主な内容

【個人】

年長児の保護者（保育所、幼稚園、認定こども園）

- ・年長児との続柄
- ・ブックスタート・ブックセカンド事業
- ・家庭での読書
- ・公立図書館の利用
- ・電子書籍の利用
- ・保護者の読書習慣

児童生徒（小・中・義務・高校）

- ・令和5年4月1日以降の読書習慣
- ・過去の読書習慣
- ・公立図書館の利用
- ・学校図書館の利用
- ・電子書籍の利用

【事業所】

保育所、幼稚園、認定こども園

- ・読み聞かせの実施
- ・選書
- ・読書活動の推進

小学校、中学校、義務教育学校、高等学校

- ・読書活動の推進
- ・特別支援学級の設置
- ・所蔵資料
- ・公立図書館の利用

年長児の保護者

○有効回答者数 325名 (父親32名 母親292名 祖母1名)

	質問	結果
家庭での読書	お子さんは本を読むこと(読んでもらうこと)は好き?	「好き」:約9割(88.9%)
	ブックスタート事業等で配られた絵本を使っている?	「よく使った」又は「ときどき使った」:約8割(83.3%) 「あまり使っていない」又は「使っていない」:約2割(16.6%) *配布された絵本を活用していない家庭:前回調査より増加↑ (H29:4.3%→R5:16.6%)
公立図書館の利用	公立図書館を利用するか? (R5.4~R6.1の期間)	「利用しない」:約3割(34.8%) (理由) 「幼稚園・保育所・認定こども園で本を借りられるから」:約6割(60.2%) 「借りたり返したりするのが面倒だから」:約5割(54.0%)
電子書籍の利用	読み聞かせに電子書籍を利用したことがあるか?	「利用したことがない」:約9割(91.4%) *平成29年度調査(読み聞かせへの電子端末(タブレットやスマートフォンなど)を「利用しない」割合(83.8%))と比較しても読み聞かせにおける電子書籍の利用は進んでいない。
保護者の読書習慣	読み聞かせ以外に自分自身で読書をするか?	「ほとんど読まない」又は「まったく読まない」:5割以上(55.4%) *保護者が読書をしない家庭が過半数を超えている。 *前回調査と比較すると、「よく読む」割合が減少↓(H29:14.6→R5:9.2%)

※各選択肢の回答率(%)は、小数点以下第二位を四捨五入しており、単一回答の間では、合計が100%にならない場合がある。

本が好き (88.9%)

家庭での 読み聞かせの頻度

1日~2日/週
10~30分以内/日
2~3冊/週

読み聞かせには どんな本を選ぶか

子どもが読んでほしいと
いった本を選ぶ (97.6%)

子どもの喜びそうな本を保護
者が選ぶ (42.2%)

SNSで話題になった本を選ぶ
(8.5%)

本はどうやって準備するか

保育所・幼稚園・認定こども園で
借りる (77.6%)

紙の本を買う (47.3%)

電子書籍を買う (0.7%)

※電子書籍を読み聞かせに利用している方の
うち、0歳から利用している家庭もある
※電子書籍を読み聞かせに利用する理由は、
本の貸し借りの手間がない、かさばらない
等内容より利用しやすさを評価している

アンケート上位の回答

デジタルに関する回答

小3～高2(児童・生徒)

○有効回答者数 1,683名(小3:394名、小6:439名、中3:399名、高2:451名)

	質問	結果
読書に対する意識	読書が好き?	「好き」又は「どちらかというが好き」 ・小3:約9割(89.0%) (前回調査と比べ横ばい) ・小6:約8割(77.0%) (前回調査より減少↓) ・中3:約8割(82.2%) (前回調査と比べ横ばい) ・高2:約7割(67.4%) (前回調査と比べ減少↓)
不読率(1ヶ月に1冊も読まない割合)	最近1ヶ月に本を読んだか?	○「読み終わった本が1冊以上ある」又は「途中まで読んだ本がある」 ・小学生(小3・小6):9割を超える(前回調査と比べ横ばい) ○「まったく読んでいない」 ・高2:約4割(35.0%) (前回調査と比べ増加↑) *中学生・高校生は小学生に比べ不読率が高い傾向がみられる
過去の読書習慣	小さい頃、家の人に絵本などを読んでもらったか?	「よく読んでもらった」 ・小3～高2全体:約7割(65.9%)
(中3調査)	小学校の時期にどれくらい本を読んだか?	小学生の時に「とてもよく読んだ」又は「よく読んだ」:約8割(75.2%)
(高2調査)	小学生や中学生の時期にどれくらい本を読んだか?	小学生の時に「とてもよく読んだ」又は「よく読んだ」:約7割(71.0%) 「とてもよく読んだ」→小学生の時:37.5%、中学生の時:22.4% *学年が上がるにつれて読書をする機会が減少

小3～高2(児童・生徒)

○有効回答者数 1,683名(小3:394名、小6:439名、中3:399名、高2:451名)

	質問	結果
公立図書館の利用	公立図書館にどれくらい行くか?(R5.4～R6.1)	月に1回以上公立図書館を利用する → 小3:5割(50.0%)、小6:約3割(29.9%)、中3:約2割(22.6%)、高2:約1割(13.3%) *学年が上がるにしたがって公立図書館の利用頻度が減少 *前回調査と比べると、すべての調査対象で「利用しない」と回答した割合は減少
	公立図書館に行くのはなぜ? 行かないのはなぜ?	(行く理由) ・小3・小6:「図書館には読みたい本があるから」:約7割 (小3:74.7% 小6:71.7%) ・中3・高2:「図書館で宿題や勉強をするから」:約5割 (中3:50.4% 高2:51.7%) *学年が上がるにしたがい、公立図書館を利用する理由が変化 (行かない理由) ・小3・小6:「学校で本を借りているから」と回答した割合が最も高い (小3:65.1%、小6:47.0%) ・中3・高2:「本は買って読むから」が小学生に比べて高い割合を占める (中3:47.7%、高2:41.3%)

小3～高2(児童・生徒)

○有効回答者数 1,683名(小3:394名、小6:439名、中3:399名、高2:451名)

	質問	結果
学校図書館の利用	学校図書館にどれくらい行くか? (R5.4～R6.1)	・小3・小6:「週に1～2回」(小3:63.2%、小6:45.3%) ・中3・高2:「利用しない」:(中3:27.8%、高2:43.2%) *学年が上がると学校図書館を利用しない割合が増加
	学校図書館に行くのはなぜ? 行かないのはなぜ?	(行く理由) ・「図書館には読みたい本があるから」 (小3:80.3%、小6:67.1%、中3:58.0%) ・「授業で行くから」(小3:42.3% 小6:43.9% 高2:44.1%) (行かない理由) 「本を読みたいと思わないから」(37.7%)が最も高く、次いで「本は買って読んでいるから」(25.8%)、「借りたり返したりするのが面倒だから」(17.2%)の順となった(小3～高2全体)
電子書籍の利用	電子書籍を利用したことがあるか? (R5.4～R6.1)	「よく利用している」又は「利用したことがある」: 小3:41.6%、小6:41.4%、中3:60.7%、高2:59.6% *学年が上がるにしたがって利用率が上昇

アンケート上位の回答

デジタルに関する回答

読書が好き (小3～高2全体：78.5%)

最近1ヶ月に 本を読んだか

読んでいない
(小3～高2全体：16.5%)

※学年が上がると読んでいない割合が上昇。
特に高校生は約4割(35.0%)と小中学生
に比べ高い。

※小学生の時によく読書をしていた子も学年
が上がるにつれて読書をしなくなる傾向が
ある。

本を読まない理由として、「本を読みたいと
思わない」が小3～高2全体で51.3%と最も
高く、次いで「ゲームやインターネットの方
が楽しい」が43.7%と高い。

どこにある本を 読んでいるか

小学生は【学校図書館】の本
をよく読んでいる

小3 (64.2%)、小6 (57.6%)

学年が上がると【自分の家】
にある本をよく読んでいる

中3 (51.6%)、高2 (55.4%)

本はどうやって選ぶか

自分の好きな本を選ぶ
(全体：89.4%)

友だちにすすめられた本を選ぶ
(全体：26.6%)

TiKTokやインスタグラム等の
SNSで話題になった本を選ぶ

中3 (32.3%)、高2 (36.1%)

※学年が上がるとSNSを利用して本を選ぶ割合
が上昇

保育所・幼稚園・認定こども園

○有効回答数 28園

	質問	結果
読み聞かせの実施	園(所)では読み聞かせをしているか?	「実施している」:100% *保育士・幼稚園教諭等による読み聞かせ:100%、読書ボランティアによる読み聞かせ:5割(50.0%)
選書の方法	園(所)で購入する絵本や児童書はどのように選んでいるか?	・「新聞や雑誌、インターネット等で紹介された本から選ぶ」:約6割(57.1%)、「図書館のおすすめ本を参考にする」:約4割(35.7%)、「書店に相談し、おすすめの本から選ぶ」:約3割(25.0%)の順となった。
読書活動の推進	読み聞かせの他に、読書への関心を高めるためにどのような取組をしているか?	・「絵本コーナーの設置」:約9割(85.7%)、「家庭への絵本の貸出」:約8割(82.1%)と高い。 ・自由記入欄には、絵本だよりを発行し家庭へ読み聞かせの大切さを啓発している、保育参加日の時に親子で絵本を読む時間を設ける等との回答もあった。
	特に課題だと感じることは何か?	・「読み聞かせ等に関する職員研修の充実」(53.6%)、「園(所)で購入する絵本や児童書の選書」(46.4%)が約5割と高い結果となった。 ・自由記入欄には、保護者への啓発や絵本を購入する予算の確保等との回答もあった。

小学校・中学校・義務教育学校・高校

○有効回答数 54校（小学校32校、中学校7校、高校15校）

	質問	結果
読書活動の推進	子どもたちへの読書の関心を高めるための取組をしているか？	・全校種において「本の展示」「おすすめ本の紹介」「授業での図書館利用」「図書館の利用ガイダンス」に取り組む割合が約9割と高い。
	特に課題だと感じることは何か？	全校種で、「ICTを活用した読書推進の取組」が約7割と最も高く、次いで「学校図書館の資料の充実」が5割を超えた。
	保護者会や各種通信等を通じて、読書や読み聞かせの意義等を家庭へ説明しているか？	読書の意義等を家庭へ働きかけを行っている割合は、小学校:約8割(81.3%)、中学校:約6割(57.1%)、高校:約1割(13.3%)。
障がい等に配慮した資料の充実	外国にルーツを持つ児童生徒のために母語で書かれた本は所蔵しているか？	・日本語を母語としない児童生徒は一定数在籍している。 ・「所蔵していない」割合 → 小学校:約7割(73.7%)、中学校:約8割(75.0%)、高校:約5割(53.3%)
	障がいの状態や特性等を考慮した資料を所蔵しているか？	・特別支援学級がある小学校、中学校において、小学校:約5割(53.1%)、中学校:約9割(85.7%)で「所蔵している」と回答。
公立図書館の利用	児童生徒へ地域の公立図書館の利用方法を説明したり、利用をすすめているか？	・利用方法の説明等を行っている割合は全校種で高く、特に高校では約9割(93.3%)となった。
	障がい等に配慮した資料について公立図書館に相談したり、公立図書館から借りたりすることがあるか？	公立図書館に相談したり、資料を借りる等している割合は、小学校で約4割(41.2%)、中学校で約7割(66.7%)、高校で5割(50.0%)。


東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所 「子どもの生活と学びに関する親子調査」

- ・同一の親子を対象に2015年から継続して追跡する縦断調査
- ・2022年：13,398組の回答あり


平日の読書時間は？

読書への
家庭の影響は？

読書の効果は？

*東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所は、
2013年度より「子どもの生活と学び」に関する共同研究プロジェクトを実施 

全国学校図書館協議会 「学校読書調査」

- ・全国の小・中・高等学校の児童生徒の読書状況を調査（毎年実施）
- ・第68回調査（2023年度実施）の調査対象：
小学生：3,447人、中学生：3,317人、高校生：4,048人

不読率

電子書籍の読書経験

紙の本と電子書籍の
比較

いっしょに
考えてみませんか？

学び・読書の可能性を広げるICTの活用

ご清聴ありがとうございました



鳥取県教育委員会事務局社会教育課

生涯学習推進担当 三田

電話:0857-26-7943

メール:shakaikyoku@pref.tottori.lg.jp